

鹿病防第10号  
平成19年6月11日

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成19年度病害虫発生予察特殊報第1号について

奄美大島のパッションフルーツにおいて、「クリバネアザミウマ」(*Hercinothrips femoralis* (Reuter)) の発生が認められ、特殊報第1号を発表したので送付します。  
なお、病害虫防除所ホームページ ([www.jppn.ne.jp/kagoshima](http://www.jppn.ne.jp/kagoshima)) にも掲載しています。

## 病害虫発生予察 特殊報第1号

平成19年6月11日  
鹿児島県病害虫防除所

**1 病害虫名** クリバネアザミウマ (*Hercinothrips femoralis* (Reuter))  
(アザミウマ科, アミメアザミウマ亜科)

**2 作物名** パッションフルーツ

### 3 発生確認及び発生状況

平成19年5月に奄美市笠利町で、パッションフルーツの果実や葉にアザミウマ類による被害が認められた。東京農業大学岡島秀治氏により加害種はクリバネアザミウマと同定された。本種による被害は平成11年に徳之島のパッションフルーツでも確認されていた(榎本雅身氏同定)が、その後、発生は認められていない。

果実表面や葉裏にかすり様症状を生じるため(写真1, 2, 3)、特に、果実では商品価値が著しく低下するので、注意が必要である。

### 4 形態及び生態の特徴

#### 分布と侵入の経緯

世界の熱帯～温帯に広く分布する。日本では北海道から四国の各地で発生が確認されている侵入害虫で、インゲンマメ(東京都小笠原;平成11年)、ディフェンバキア(静岡県;平成13年)、ピーマン・シシトウ(高知県;平成15年)、クワイ・アガパンサス(神奈川県;平成15年)、ナス(岡山県;平成16年)、ポトス・モンステラ(香川県;平成17年)、ミョウガ(埼玉県;平成18年)、カラー(千葉県;平成19年)での発生・被害が確認されている。

**形態:** 雌成虫は褐色で体長1.2～1.5mm。頭部は褐色で単眼と複眼の間は黄色。前翅は褐色で基部と先端は淡色。頭部中央と前胸背板の網目状刻紋内部に多数のしわ模様がある(写真4)。幼虫の体色は黄色で、腹部背面には排泄物が固着した点状の褐色の物質が認められ、尾部末端には球状の排泄物を保有する場合が多い(写真5)。

**生態:** 寄主範囲は広く、海外では、バショウ科、ヤシ科、サトイモ科、ウコギ科、ユリ科、クワ科、コショウ科、サボテン科、ツユクサ科、キョウチクトウ科、キク科で寄生が確認されている。

### 5 防除対策

寄主植物の範囲が広く、雑草類が増殖源となる可能性があるため、ほ場内外の除草を行う。本種は各種殺虫剤に対しては感受性が高いことが判明している。

**6 参考文献:** 関東東山病害虫研究会報 第50集(2003) 西東ら

## 参考資料



写真1 果実表面の被害



写真2 葉裏の被害



写真3 葉裏の幼虫  
黒く見えるのは排泄物



写真4 成虫



写真5 幼虫  
尾部末端には球状の排泄物を保有する

\*写真4, 5は, 愛知県農業総合試験場 大野 徹氏撮影